※１　全国農業地域の区分で収穫量上位の２地域。各地域に所属する都道府県は以下のとおり。

全国農業地域	所属都道府県名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

※２　米の輸出量は玄米換算。
※３　米の単収（2030 年）は、主食用：555kg/10a、新市場開拓用：628kg/10a、米粉用：616kg/10a、飼料用：720kg/10a。
※４　小麦の単収（2030 年）は、田：489kg/10a、畑：605kg/10a。
※５　大豆の単収（2030 年）は、田：212kg/10a、畑：268kg/10a。
※６　ばれいしょの 2023 年の生産量は過去 20 年間（2004 年～2023 年）における最高単収により、238 万ｔであるが、2022 年の生産量は 228 万ｔ。
※７　参考：水産基本計画において 2032 年度の生産量目標等が定められている。
※８　花きの生産量は産出額、輸出量は切り花の輸出額。単位は億円。産出額は「生産農業所得統計」「花木等生産状況調査」により算出しており、「花木等生産状況調査」の最新値が 2022 年のため、産出額の最新値は 2022 年となる。
※９　薬用作物は国産の使用量が多い重点８品目。生産量等の最新値は 2022 年となる。
※10　飼料作物の生産量は、可消化養分総量（TDN）ベース。

（２）輸出の促進（輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化）

	目標（2030 年（年度））		KPI（2030 年（年度））	
輸出の促進（輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化）	○農林水産物・食品の輸出額	1.5 兆円（2024 年）→５兆円（内訳は、農産物（加工食品を含む。）3.6 兆円、林産物 0.2 兆円、水産物 1.1 兆円のほか、少額貨物 0.2 兆円。）	・輸出重点品目ごとの輸出額	別表２
			・大規模に農畜産物の輸出に取り組む産地数	65 産地（2024 年）→259 産地
			・公的機関における海外への品種登録出願に係る判断基準の整備	100％
			・育成者権管理機関の法人化とライセンス先による商業栽培の開始	１件以上（法人化及び商業栽培開始）
	○食品産業の海外展開による収益額	1.6 兆円（2022 年）→３兆円	・食料品製造業の現地法人の売上高	6.9 兆円（2022 年度）→９兆円
			・食料品製造業の現地法人から支払われるロイヤリティ	280 億円（2022 年度）→411 億円
			・グローバル・フードバリューチェーン（GFVC）推進官民協議会会員企業のうち現地法人を有している企業数	187 社（2023 年）→230 社
	○インバウンド（訪日外国人旅行者）による食関連消費額	1.6 兆円（2023 年）→4.5 兆円	・インバウンドによる一人当たり食関連消費額（訪日外国人旅行消費額のうち①飲食費、②食関連の買物代の合計）	6.4 万円/人（2023 年）→7.5 万円/人
			・訪日外国人旅行者数	2,507 万人（2023 年）→6,000 万人